2026年度基金シート　経済産業省

バイオものづくり革命推進事業

基本情報

組織情報	府省庁	経済産業省				
	事業所管課室	経済産業省 | 商務情報政策局商務・サービスG | 生物化学産業課				
	作成責任者	山室芳剛				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	017249	基金シート番号	1830	枝番	--
	基金の名称	バイオものづくり革命推進基金				
	基金の造成法人等の名称	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	法人形態	国立研究開発法人		
	造成法人等の選定方法及び選定理由等	本事業は、バイオものづくりの研究開発・実証事業を実施するものであり、NEDO以外に適切な基金設置法人として該当するものが無いことから、科学技術イノベーション活性化法第27条の2に基づき、基金設置法人を予算措置より指定。				
	造成法人等の適格性	NEDOはバイオものづくりに関する研究開発プロジェクトの管理について継続的な実績を持ち、公募開始までと本基金事業においても実績を活用して効率的に業務を遂行していることから基金設置法人として適切と考えられる。				
	基金事業・基金の造成法人等への調査・検査等の実施状況	基金設置法人と定期的に打ち合わせを行い、基金の管理・運用状況の確認をしていくこととしている。				
	運営形態	取崩し型	事業形態	補助		
関連事業	--					

概要・目的	事業の目的	政策・施策：４．情報処理の促進並びにサービス・製造産業の発展 2030年までに、官民合わせて、年間の投資規模を３兆円に拡大していくことを目的としている。 本事業では、遺伝子改変技術を活用して微生物や動植物等の細胞から有用な物質を生産する「バイオものづくり」について、国内外の未利用資源を原料にして、プラスチックや食品など多様なバイオ由来製品を生産する技術開発を支援し、市場の形成・獲得に向けた取組も行うことで社会実装を進めていく。 本事業を進めることによって、民間企業の新たなバイオ由来製品による市場獲得を後押しし、民間企業の大規模な投資につなげていくことに貢献する。 また、本事業で開発されたバイオ由来製品を市場投入することで、気候変動、食料・資源不足、海洋汚染といった地球規模の社会課題の解決と経済成長の両立を実現させる。	
	現状・課題	バイオものづくりの社会実装を進めていくためには、従来の化石資源を原料とした製品と比べて高くなるコストを受容可能な程度まで低減させる必要がある。そのためには、バイオものづくりによる生産性を向上させ、効率的に大量生産が可能となるような技術開発を進めることが必要である。加えて、バイオ由来製品が市場に受け入れやすくなるように、初期需要を創出するための制度の検討や標準化等、ルール整備なども求められる。	
	事業の概要	遺伝子改変技術を活用して微生物や動植物等の細胞から有用な物質を生産する「バイオものづくり」の技術を活用し、国内外の未利用資源から燃料やプラスチック、食品等のバイオ由来製品の社会実装に向けた技術開発、実証、市場獲得に向けたLCA手法の確立、標準化や製品表示整備等の取組を行う。	
	事業概要URL	https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2022/hosei/pdf/pr_hosei_221202.pdf	
	基金方式の必要性	基金事業の類型	その他
		該当する理由（その他の場合、基金によらざるを得ない理由）	本事業は複数年度にわたる事業であり、研究開発の成熟度合いに応じて次の段階に進むため、各年度に必要となる額を予見することが極めて困難である。 バイオものづくりは、世界的にも技術の根幹となる大量培養技術が未確立・未成熟な状況。日本が本分野で競争優位を獲得するためには、安定的かつ効率的に大量生産が可能となるよう早急に技術を確立することが必要である。
事業開始年度	2022		
終了予定時期	基金事業の終了予定時期	2033-03-31	
	補足理由	本事業は、令和８年度末までを新規採択の期間としているが、「バイオものづくり」の特性として技術面・事業面の不確実性が高いことにより想定よりも長期間の支援を要するケースが生じる可能性があること等を踏まえ、支援可能な期間（最長8年間程度）を最大限確保する必要がある。なお、現時点の採択事業における支援期間を踏まえて、令和１４年度末を本事業の終了予定時期としている。	
	期間中に終了予定時期を変更した場合、その経緯と理由	--	
	基金事業の新規申請受付終了時期	2027-03-31	
	補足理由	その後の対応については成果の検証を踏まえたものとする。	
	期間中に新規申請受付終了時期を変更した場合、その経緯と理由	令和５年12月20日付行政改革推進会議「基金の点検・見直しの横断的な方針」を踏まえ、終了予定時期を2027年3月末に見直しした。	

根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分
	科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律	平成二十年法律第六十三号	第二十七条の二	--	--
	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構法	平成十四年法律第百四十五号	第十五条	1	第１号二、第３号、第９号

関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL
	新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画（令和４年６月７日　閣議決定）	--

備考	--

基金経過

基金の造成の経緯	予算措置年度	基金造成年度	資金交付の形態	会計区分		当初・補正・予備費等
	2022	2022	直接交付	一般会計		補正（第２号）
	原資となった資金の名称		--			
	原資となった資金の名称の補足情報		(項)ものづくり産業振興費 (目)革新的研究開発推進基金補助金			
	国費額（単位：千円）		300,034,199	補助金適正化法 適用の有無	有	
	関連するレビューシート		作成年度 2022	事業名	バイオものづくり革命推進事業	

基金への予算措置（管理費のみの予算措置を除く）	基金の分類	事業の進捗や政策効果の発現の状況を一定の期間で確認するなど、成果管理を徹底することを前提に、基金への一定期間相当の予算措置を検討する事業
	直近の予算措置年度	2022年度
	予算措置理由及び成果目標の達成状況・検証結果	令和６年度当初予算よりも前に措置された基金事業。
	直近の予算措置に基づき交付決定が想定される期間	令和４年度（予算措置年度）～令和１４年度（１１年間）

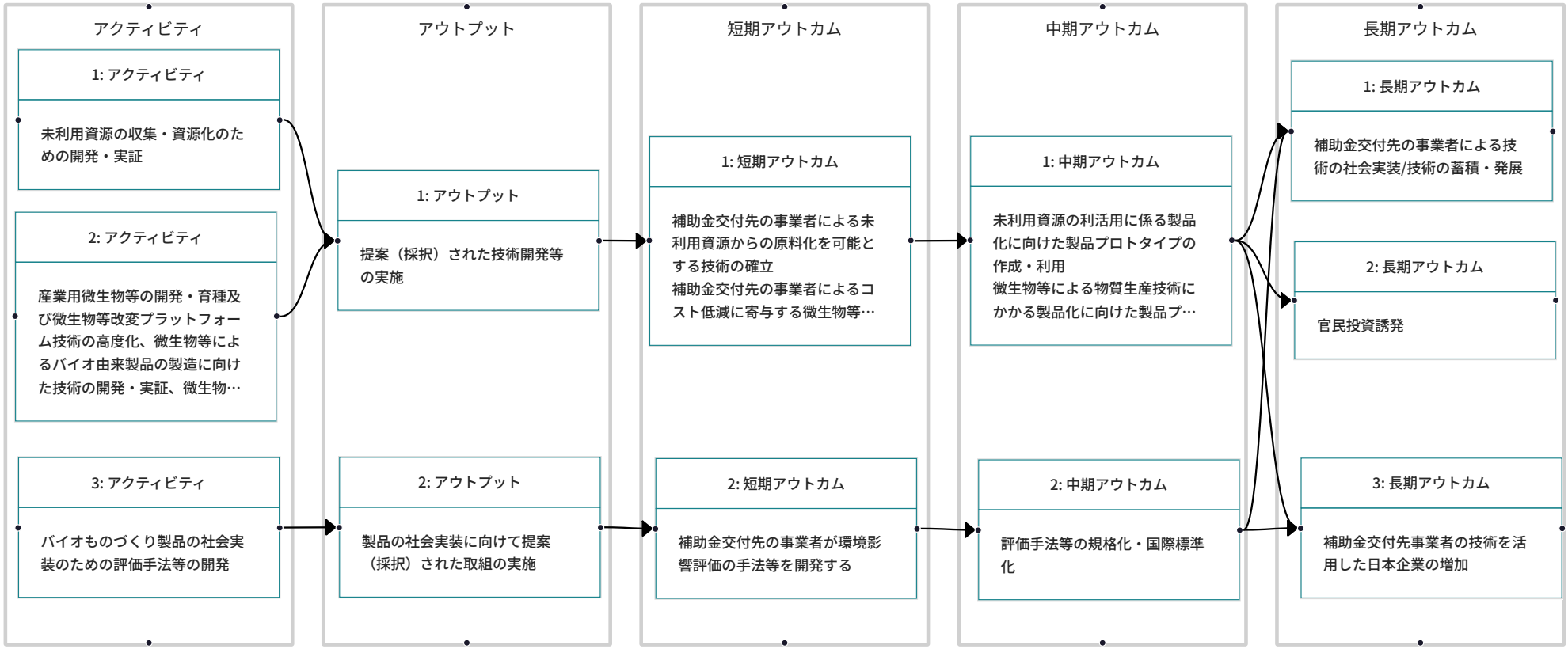
国庫返納の経緯	年度	国庫返納額（単位：千円）	理由
	2024	30,000,000	基金における執行状況・見込みを点検していた中で残余として考えられる金額が判明ししたため、補助金等の交付により造成した基金等に関する基準に基づき、残余として考えられる金額を不用額として国庫へ返納した

基金事業のこれまでの取組とその成果、過去に実施した見直しの概要	これまでに１９テーマの採択を実施した。また、2025年度2月に第４回公募を実施し、2026年度上半期に新規テーマの採択および事業開始を予定している。 令和５年12月20日付行政改革推進会議「基金の点検・見直しの横断的な方針」を踏まえ、アウトカムについて再精査し、定量的かつ適切な指標を設定。足下の執行状況を踏まえた保有割合の再精査を行った。

補助金適正化法施行令第４条２項各号で定める事項	革新的研究開発推進基金補助金（バイオものづくり革命推進基金補助金）交付要綱より抜粋 （基金の基本的事項の公表等） 第９条 機構は、基金の造成後、速やかに、基金に係る管理・運用の基本的事項として、基金の名称、基金の額、基金のうち国庫補助金等相当額、基金事業の概要、基金事業の目標について公表しなければならない。 ２ 機構は、基金の額が基金事業等の実施の状況その他の事情に照らして過大であると大臣が認めた場合は、速やかに、交付を受けた補助金の全部又は一部に相当する金額を国庫に納付しなければならない。 （実績報告等） 第１４条 機構は、基金の造成が完了した日から起算して３０日を経過した日（前条第１項により交付決定の全部の取消しを命じられた場合には、当該命令がなされた日から起算して３０日を経過した日）又は基金の造成が完了した日の翌年度の４月１０日のいずれか早い日までに実績報告書（様式第７）を大臣に提出しなければならない。 ２ 前項の期日については、大臣が特に必要があり、かつ、予算の執行上支障がないと認めるときは、この期日を繰り下げることができる。 ３ 機構は、基金事業開始から事業終了後5年後までの間、毎年度、基金の額（残高及び国庫補助金等相当額）、基金事業に係る収入・支出及びその内訳（今後の見込みを含む。）、基金事業の実施決定件数・実施決定額、保有割合（「補助金等の交付により造成した基金等に関する基準」（平成１８年８月１５日閣議決定）中「３（３）基金の保有に関する基準」に示されている保有割合をいう。）、保有割合の算出根拠、基金事業の目標及び目標に対する達成度等について、翌年度の６月３０日までに大臣に報告しなければならない。 ４ 機構は、科技イノベ活性化法第２７条の３の規定により、毎事業年度、基金に係る業務に関する報告書を作成し、当該事業年度の終了後６か月以内に大臣に提出しなければならない。 ５ 機構は、基金事業開始から事業終了後5年後までの間、実施要領に定める基金の管理・運用及び基金事業の実施の方法に重要な変更の必要性が生じた場合や基金事業の継続が困難になった場合は、速やかに、大臣に報告し、その指示を受けなければならない。 ６ 機構は、基金事業の適正かつ円滑な実施に重大な支障が生じ、又は生ずるおそれがあると認められる場合には、経済産業省に速やかに報告するとともに、その指示を仰いだ上で、必要に応じて、実施者に対し改善等の指導を行うものとする。 （基金の廃止等） 第２２条 機構は、基金を廃止する場合には、廃止するときに保有する基金の残余額を大臣に報告し、その指示を受けて、これを国庫に返還しなければならない。 ２ 機構は、基金の廃止後において、基金事業に係る契約の相手先若しくは助成金の交付先から返還金を受け取った場合には、これを国庫に返還しなければならない。

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 1-1-1-1-1

アクティビティ	未利用資源の収集・資源化のための開発・実証			
アウトプット	活動目標	提案（採択）された技術開発等の実施	活動指標	実証研究数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
当初見込み／目標値(件)	20	20	20	20
活動実績／成果実績(件)	5	10	19	--

↓後続アウトカムへのつながり	未利用資源に係る実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。

短期アウトカム	成果目標	補助金交付先の事業者による未利用資源からの原料化を可能とする技術の確立 補助金交付先の事業者によるコスト低減に寄与する微生物等による物質生産技術の確立	成果指標	確立した技術数、特許出願数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績	2024年度	2025年度	目標年度 2026年度
当初見込み／目標値(件)	--	--	3
活動実績／成果実績(件)	0	1	--
達成率(%)	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化等の実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、製造コスト1.2倍以下を達成する製品やプロトタイプ製品の事業化を図る。

中期アウトカム	成果目標	未利用資源の利活用に係る製品化に向けた製品プロトタイプの作成・利用 微生物等による物質生産技術にかかる製品化に向けた製品プロトタイプの作成・利用	成果指標	製品プロトタイプの作成・利用数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	目標年度 2032年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	20
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	未利用資源に係る実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化等の実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、製造コスト1.2倍以下を達成する製品やプロトタイプ製品の事業化を図る。

長期アウトカム	成果目標	補助金交付先の事業者による技術の社会実装/技術の蓄積・発展	成果指標	市場投入した製品数 代替品とのコスト比（製品毎） 特許取得・知財数（製品毎） 等
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	最終目標年度 2032年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	20
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 1-1-1-1-2

アクティビティ	未利用資源の収集・資源化のための開発・実証			
アウトプット	活動目標	提案（採択）された技術開発等の実施	活動指標	実証研究数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
当初見込み／目標値(件)	20	20	20	20
活動実績／成果実績(件)	5	10	19	--

↓後続アウトカムへのつながり	未利用資源に係る実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。

短期アウトカム	成果目標	補助金交付先の事業者による未利用資源からの原料化を可能とする技術の確立 補助金交付先の事業者によるコスト低減に寄与する微生物等による物質生産技術の確立	成果指標	確立した技術数、特許出願数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績	2024年度	2025年度	目標年度 2026年度
当初見込み／目標値(件)	--	--	3
活動実績／成果実績(件)	0	1	--
達成率(%)	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化等の実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、製造コスト1.2倍以下を達成する製品やプロトタイプ製品の事業化を図る。

中期アウトカム	成果目標	未利用資源の利活用に係る製品化に向けた製品プロトタイプの作成・利用 微生物等による物質生産技術にかかる製品化に向けた製品プロトタイプの作成・利用	成果指標	製品プロトタイプの作成・利用数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	目標年度 2032年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	20
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	未利用資源に係る実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化等の実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、製造コスト1.2倍以下を達成する製品やプロトタイプ製品の事業化を図る。

長期アウトカム	成果目標	官民投資誘発	成果指標	プロジェクト実施者によるプロジェクト期間中の投資額の総和
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	最終目標年度 2032年度
	当初見込み／目標値(億円)	--	--	--	--	--	--	--	--	1,627
	活動実績／成果実績(億円)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 1-1-1-1-3

アクティビティ	未利用資源の収集・資源化のための開発・実証			
アウトプット	活動目標	提案（採択）された技術開発等の実施	活動指標	実証研究数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
当初見込み／目標値(件)	20	20	20	20
活動実績／成果実績(件)	5	10	19	--

↓後続アウトカムへのつながり	未利用資源に係る実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。

短期アウトカム	成果目標	補助金交付先の事業者による未利用資源からの原料化を可能とする技術の確立 補助金交付先の事業者によるコスト低減に寄与する微生物等による物質生産技術の確立	成果指標	確立した技術数、特許出願数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績	2024年度	2025年度	目標年度 2026年度
当初見込み／目標値(件)	--	--	3
活動実績／成果実績(件)	0	1	--
達成率(%)	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化等の実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、製造コスト1.2倍以下を達成する製品やプロトタイプ製品の事業化を図る。

中期アウトカム	成果目標	未利用資源の利活用に係る製品化に向けた製品プロトタイプの作成・利用 微生物等による物質生産技術にかかる製品化に向けた製品プロトタイプの作成・利用	成果指標	製品プロトタイプの作成・利用数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	目標年度 2032年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	20
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	未利用資源に係る実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化等の実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、製造コスト1.2倍以下を達成する製品やプロトタイプ製品の事業化を図る。

長期アウトカム	成果目標	補助金交付先事業者の技術を活用した日本企業の増加	成果指標	該当事業者が開発した技術ライセンス・設備等の販売数 構築可能なサプライチェーンの見込数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	最終目標年度 2032年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	20
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 2-1-1-1-1

アクティビティ	産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化、微生物等によるバイオ由来製品の製造に向けた技術の開発・実証、微生物等によって製造した物質の分離・精製、バイオ由来製品への加工技術の開発実証

アウトプット				
	活動目標	提案（採択）された技術開発等の実施	活動指標	実証研究数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績					
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(件)	20	20	20	20
	活動実績／成果実績(件)	5	10	19	--

↓後続アウトカムへのつながり	
	未利用資源に係る実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。

短期アウトカム				
	成果目標	補助金交付先の事業者による未利用資源からの原料化を可能とする技術の確立 補助金交付先の事業者によるコスト低減に寄与する微生物等による物質生産技術の確立	成果指標	確立した技術数、特許出願数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績				
		2024年度	2025年度	目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	3
	活動実績／成果実績(件)	0	1	--
	達成率(%)	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	
	海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化等の実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、製造コスト1.2倍以下を達成する製品やプロトタイプ製品の事業化を図る。

中期アウトカム	成果目標	未利用資源の利活用に係る製品化に向けた製品プロトタイプの作成・利用 微生物等による物質生産技術にかかる製品化に向けた製品プロトタイプの作成・利用	成果指標	製品プロトタイプの作成・利用数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	目標年度 2032年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	20
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	未利用資源に係る実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化等の実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、製造コスト1.2倍以下を達成する製品やプロトタイプ製品の事業化を図る。

長期アウトカム	成果目標	補助金交付先の事業者による技術の社会実装/技術の蓄積・発展	成果指標	市場投入した製品数 代替品とのコスト比（製品毎） 特許取得・知財数（製品毎） 等
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	最終目標年度 2032年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	20
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 2-1-1-1-2

アクティビティ	産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化、微生物等によるバイオ由来製品の製造に向けた技術の開発・実証、微生物等によって製造した物質の分離・精製、バイオ由来製品への加工技術の開発実証

アウトプット				
	活動目標	提案（採択）された技術開発等の実施	活動指標	実証研究数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績					
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(件)	20	20	20	20
	活動実績／成果実績(件)	5	10	19	--

↓後続アウトカムへのつながり	
	未利用資源に係る実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。

短期アウトカム				
	成果目標	補助金交付先の事業者による未利用資源からの原料化を可能とする技術の確立 補助金交付先の事業者によるコスト低減に寄与する微生物等による物質生産技術の確立	成果指標	確立した技術数、特許出願数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績				
		2024年度	2025年度	目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	3
	活動実績／成果実績(件)	0	1	--
	達成率(%)	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	
	海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化等の実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、製造コスト1.2倍以下を達成する製品やプロトタイプ製品の事業化を図る。

中期アウトカム	成果目標	未利用資源の利活用に係る製品化に向けた製品プロトタイプの作成・利用 微生物等による物質生産技術にかかる製品化に向けた製品プロトタイプの作成・利用	成果指標	製品プロトタイプの作成・利用数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	目標年度 2032年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	20
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	未利用資源に係る実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化等の実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、製造コスト1.2倍以下を達成する製品やプロトタイプ製品の事業化を図る。

長期アウトカム	成果目標	官民投資誘発	成果指標	プロジェクト実施者によるプロジェクト期間中の投資額の総和
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	最終目標年度 2032年度
	当初見込み／目標値(億円)	--	--	--	--	--	--	--	--	1,627
	活動実績／成果実績(億円)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 2-1-1-1-3

アクティビティ	産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化、微生物等によるバイオ由来製品の製造に向けた技術の開発・実証、微生物等によって製造した物質の分離・精製、バイオ由来製品への加工技術の開発実証

アウトプット				
	活動目標	提案（採択）された技術開発等の実施	活動指標	実証研究数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績					
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(件)	20	20	20	20
	活動実績／成果実績(件)	5	10	19	--

↓後続アウトカムへのつながり	
	未利用資源に係る実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。

短期アウトカム				
	成果目標	補助金交付先の事業者による未利用資源からの原料化を可能とする技術の確立 補助金交付先の事業者によるコスト低減に寄与する微生物等による物質生産技術の確立	成果指標	確立した技術数、特許出願数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績				
		2024年度	2025年度	目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	3
	活動実績／成果実績(件)	0	1	--
	達成率(%)	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	
	海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化等の実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、製造コスト1.2倍以下を達成する製品やプロトタイプ製品の事業化を図る。

中期アウトカム	成果目標	未利用資源の利活用に係る製品化に向けた製品プロトタイプの作成・利用 微生物等による物質生産技術にかかる製品化に向けた製品プロトタイプの作成・利用	成果指標	製品プロトタイプの作成・利用数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	目標年度 2032年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	20
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	未利用資源に係る実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、海外バイオマス原料と同等の価格を達成し、国内の未利用資源を使用して製造し可能な製品を生み出す。 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化等の実証研究について、「ステージゲート審査」にて、計画通りの進捗かを確認することで、製造コスト1.2倍以下を達成する製品やプロトタイプ製品の事業化を図る。

長期アウトカム	成果目標	補助金交付先事業者の技術を活用した日本企業の増加	成果指標	該当事業者が開発した技術ライセンス・設備等の販売数 構築可能なサプライチェーンの見込数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	最終目標年度 2032年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	20
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 3-2-2-2-1

アクティビティ	バイオものづくり製品の社会実装のための評価手法等の開発			
アウトプット	活動目標	製品の社会実装に向けて提案（採択）された取組の実施	活動指標	取組件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(件)	20	20	20	20
	活動実績／成果実績(件)	6	14	19	--

↓後続アウトカムへのつながり	評価手法等を開発し、プロジェクト内の案件に対して評価を実施することで、標準規格化を達成する。

短期アウトカム	成果目標	補助金交付先の事業者が環境影響評価の手法等を開発する	成果指標	開発した手法等の数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。提案事業者の標準化の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	2025年度	目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	3
	活動実績／成果実績(件)	--	0	0	--
	達成率(%)	--	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	評価手法等の開発を促進し、プロジェクト内の案件に対して評価を実施することで、標準規格化を達成する。

中期アウトカム	成果目標	評価手法等の規格化・国際標準化	成果指標	国際標準化・規格化数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。提案事業者の標準化の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	目標年度2032年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	80
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	評価手法等の開発を促進し、プロジェクト内の案件に対して評価を実施することで、標準規格化を達成し、製品の事業化を図る。

長期アウトカム				
	成果目標	補助金交付先の事業者による技術の社会実装/技術の蓄積・発展	成果指標	市場投入した製品数 代替品とのコスト比（製品毎） 特許取得・知財数（製品毎） 等
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	最終目標年度2032年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	20
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

アクティビティからの発現経路 3-2-2-2-3

アクティビティ	バイオものづくり製品の社会実装のための評価手法等の開発			
アウトプット	活動目標	製品の社会実装に向けて提案（採択）された取組の実施	活動指標	取組件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(件)	20	20	20	20
	活動実績／成果実績(件)	6	14	19	--

↓後続アウトカムへのつながり	評価手法等を開発し、プロジェクト内の案件に対して評価を実施することで、標準規格化を達成する。

短期アウトカム	成果目標	補助金交付先の事業者が環境影響評価の手法等を開発する	成果指標	開発した手法等の数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。提案事業者の標準化の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	2025年度	目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	3
	活動実績／成果実績(件)	--	0	0	--
	達成率(%)	--	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	評価手法等の開発を促進し、プロジェクト内の案件に対して評価を実施することで、標準規格化を達成する。

中期アウトカム	成果目標	評価手法等の規格化・国際標準化	成果指標	国際標準化・規格化数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。提案事業者の標準化の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	目標年度2032年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	80
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

↓後続アウトカムへのつながり	評価手法等の開発を促進し、プロジェクト内の案件に対して評価を実施することで、標準規格化を達成し、製品の事業化を図る。

長期アウトカム	成果目標	補助金交付先事業者の技術を活用した日本企業の増加	成果指標	該当事業者が開発した技術ライセンス・設備等の販売数 構築可能なサプライチェーンの見込数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	経済産業省産業構造審議会商務流通情報分科会バイオ小委員会バイオものづくり革命推進ワーキンググループにおける有識者の議論を元に設定。 提案事業者の技術開発の動向を聴取。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	最終目標年度2032年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	20
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--
	URL	--
	該当箇所	--

収入・支出等

収入・支出等（単位：千円）			2023	2024	2025	当年度見込み	翌年度見込み
前年度末基金残高			300,034,199	299,331,724	265,953,932	248,901,406	197,000,097
収入		国からの資金交付額	0	0	0	0	0
		運用収入	3,514	204,901	1,358,838	555,411	555,411
		（うち国費相当額）	3,514	204,901	1,358,838	555,411	555,411
		事業収入	487	847	6,032	3,447	3,447
		（うち国費相当額）	487	847	6,032	3,447	3,447
		その他	0	0	0	0	0
		合計額	4,001	205,748	1,364,869	558,858	558,858
支出		事業費	232,165	2,839,207	17,780,975	51,600,765	43,464,781
		管理費	474,311	744,332	636,421	859,402	891,842
		（管理費率）	67.1%	20.8%	3.5%	1.6%	2%
		（うち基金設置法人の事務費）	218,514	307,774	261,039	491,797	510,361
		（うち基金設置法人の人件費）	255,797	370,373	311,836	367,605	381,481
		合計額	706,477	3,583,539	18,417,396	52,460,167	44,356,623
国庫返納額			0	30,000,000	0	0	--
その他返納額			0	0	0	0	--
当年度末基金残高			299,331,724	265,953,932	248,901,406	197,000,097	153,202,332
（うち国費相当額）			299,331,724	265,953,932	248,901,406	197,000,097	153,202,332
基金設置法人の事務人件費（当該基金からの支出を除く）		事務費	0	0	--	--	--
		人件費	0	0	--	--	--
		合計額	0	0	--	--	--

執行の乖離の状況 （単位：千円）	2024（前々年度）	事業費見込み	30,000,000	事業費	2,839,207
		乖離額	27,160,793	乖離率	90.5%
	【乖離の理由等】 2回目の公募を実施し、残高分の予算全額を採択する見込であったが、一部の提案において、提案内容に不十分な点があり採択が見送られたこと、また、採択企業との契約手続きに時間を要し事業開始時期が年度末近くとなり、2024年度における事業期間が想定よりも短くなったため。また、当該乖離については、第３回採択審査の状況を鑑み、かつ、既採択案件については今後の見込み算出方法を是正したことにより、当年度見込みを算出することとし、改善する見込み。また、2024(前年度)の乖離額には、 2025年度作成基金シートから事業費および管理費の計上範囲の定義を変更したことにより発生した差分が含まれる。なお、令和６年度末基金残高約2,659億円のうち、管理費等を除く約1,600億円が採択決定済。 （令和７年３月時点） 令和７年６月時点で第３回公募の採択審査中。				
	2025（前年度）	事業費見込み	35,685,686	事業費	17,780,975
		乖離額	17,904,711	乖離率	50.2%
	【乖離の理由等】 3回目の公募を実施し、残高分の予算全額を採択する見込であったが、一部の提案において、提案内容に不十分な点があり採択が見送られたこと、また審査の結果、採択条件により採択額が減額となったことによるもの。加えて、研究開発の進捗に伴い、研究開発計画の見直しが発生した他、物価高騰、資材不足等による部材・設備の納期遅延等により、執行計画の一部が後倒しとなったことによるもの。 なお、令和7年度末基金残高約2,489億円のうち、管理費等を除く約1,637億円が採択決定済（令和8年３月時点）。令和8年６月時点で第4回公募の採択審査中。				

実績

補助等に関する交付決定実績（単位：千円）※（）内は件数

--

交付決定年度	交付決定額		支出年度				
	実績	見込み	2023	2024	2025	2026見込み	2027以降（見込み）
2023実績	(6) 41,146,702	(20) 24,151,000	(6) 186,200	(6) 2,276,191	(6) 7,593,191	(6) 14,197,849	(6) 16,893,271
2024実績	(8) 105,099,444	(15) 264,405,923	(--) --	(8) 563,016	(8) 9,392,537	(6) 27,977,779	(6) 67,166,112
2025実績	(6) 38,334,855	(6) 99,370,600	(--) --	(--) --	(5) 795,247	(5) 6,411,398	(5) 31,128,210
2026見込み	(--) --	(4) 20,182,294	(--) --	(--) --	(--) --	(4) 3,013,739	(4) 17,168,555
2027見込み	(--) --	(--) --	(--) --	(--) --	(--) --	(--) --	(--) --

保有割合

保有割合	1.00	①保有割合の分子（保有基金額等）	248,901,405.948	②保有割合の分母（基金事業に要する費用）	248,901,405.948
	①保有基金額等の内容	令和7年度末基金残高			
	②基金事業に要する費用の内容	基金事業として必要な額（令和8年度以降支出見込み額）			
	算出根拠に用いた事業見込みの考え方（計算式・内容）	令和８年度以降支出見込み額＝補助対象事業およびその支援に係る経費			
	事業見込みに用いた指標の積算根拠	１．事業費　242,690,950,228円 ①採択済　163,774,618,832円（採択数：１９テーマ） ②未採択で直近の公募・採択見込みなど　78,916,331,396円（注１） ２．管理費　6,210,455,720円 基金設置法人の想定見積もりに基づき算出。 令和８年度は令和７年度と同等程度の支出を見込んでいる。 令和８年度上半期に新規テーマの採択および事業開始を予定していることから、これまでの実績を鑑み、想定して見積を算出。 令和９年度以降は、必要な事務が同程度に推移する想定。 （内訳） 令和8年度　859,402,220円 令和9年度　891,842,250円 令和10年度　891,842,250円 令和11年度　891,842,250円 令和12年度　891,842,250円 令和13年度　891,842,250円 令和14年度　891,842,250円 （注１）今後、応募が見込まれる複数の事業者へヒアリングを行い、その結果を基に、見込額として合計額を算出。			
	事業見込みに用いた指標の直近における実績	なし			

使用見込みの低い基金等の該当の有無と検討結果等	① 事業を終了した基金	無	② 前回の見直し以降事業実績がない基金　又は直近３年以上事業実績がない基金	無	③ 基金造成時の政策目的がなくなった基金　又は変更になった基金	無	④ 保有割合が「１」を大幅に上回っている基金	無	⑤ その他使用見込みが低いと判断される基金	無
	保有割合が「１」を上回り、④で「無」とした場合、その理由	--								
	使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討結果	--								
	使用見込みの低い基金等を残置する場合の理由	--								

点検・評価

基金所管部局による点検・改善結果	点検結果	徐々に下がっているものの、執行の乖離あり。いずれも、提案者の準備が各々の公募に間に合わなかった点や提案内容に不十分な点があったことにより、応募や採択が見送られたことが要因である。加えて、採択案件について、事業開始が年度末近くとなったため、事業期間が想定よりも短くなったことも要因である。また、事業期間の初期にあたることから、明確なアウトカムを得られていないものの、各採択案件は当初の計画から大きく外れることなく進捗している.
	目標年度における効果測定に関する評価	--
	改善の方向性	執行の乖離については、第4回公募の採択審査の状況を鑑みつつ、既採択案件については研究開発の進捗等も見ながら、今後の見込みを算出することとし改善を図っていく。また、アウトカムを含めた事業の進捗状況については、執行団体と連携しながら随時確認を進める。
外部有識者の所見	有意義な事業と思われるが、2024年度、それより下がったとはいえ2025年度の乖離率が大きい。新規申請受付は27年3月末に終了するようであるが、真に必要な事業・テーマのみを採択し、基金残高の消化を目的としないようチェックし、不要な基金は24年と同様に国庫返納すべきである。アクティビティの内容が（発現経路として、2-1-1-1-1から3-2-2-2-3まであるが､）少しわかりにくい。いずれにせよ、ステージゲート審査等で各事業毎に事業の進捗を厳密にチェックすべきである。	
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	有識者ご指摘の通り、乖離率が引き続き高い率で推移している。今後の見込みについても、現状の採択状況などを鑑み適切に精査されたい。 また、採択に至らなかった案件があったりステージゲート審査で中止となっている事業があるのであれば、それを踏まえて今後必要な金額を精査し、必要に応じて国庫返納を検討するなと、基金が適正な規模となるよう努められたい。	
所見を踏まえた改善点	真に必要な事業・テーマのみを採択し、基金残高の消化を目的としないよう、ステージゲート審査等で各事業毎に事業の進捗を厳密にチェックするとともに、基金が適正な規模となるよう努める。	

支出先

支出先上位者リスト（前年度における各ブロックへの支出）（単位：千円）

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
A 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	0	1	基金を管理し、研究開発計画に基づいて研究開発等を実施する民間企業等に委託・補助

支出先名	支出額	法人番号
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	0	2020005008480

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
バイオものづくり革命推進事業の実施 補助金等交付	0

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
B 株式会社バッカス・バイオイノベーションほか	9,056,456	24	経営者のコミットメントの下、長期にわたって研究開発・実証、社会実装に向けた取組を実施

支出先名	支出額	法人番号
株式会社バッカス・バイオイノベーション	3,485,888	5140001116883

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業 随意契約（企画競争）	3,485,888

支出先名	支出額	法人番号
日揮ホールディングス株式会社	2,303,392	3010001008732

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業 随意契約（企画競争）	2,303,392

支出先名	支出額	法人番号
公益財団法人地球環境産業技術研究機構	2,071,723	2130005012678

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
未利用原料から有用化学品を産み出すバイオアップサイクリング技術の開発 随意契約（企画競争）	1,948,167		
繊維　ｔｏ　繊維の資源循環構築の実現に向けた研究開発・実証 随意契約（企画競争）	123,556		

支出先名	支出額	法人番号
花王株式会社	215,725	4010001034760

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
未利用バイオマス資源を活用した産業を創出する糖化酵素供給プラットフォームの構築 随意契約（企画競争）	215,725

支出先名	支出額	法人番号
三和澱粉工業株式会社	177,232	3150001010501

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
国内未利用バイオマスを利用した機能性糖質素材の開発と社会実装 随意契約（企画競争）	177,232

支出先名	支出額	法人番号
王子ホールディングス株式会社	132,908	5010001034743

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業 随意契約（企画競争）	132,908

支出先名	支出額	法人番号
ＺＡＣＲＯＳ株式会社	121,235	6011101056965

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
細胞性和牛肉の社会実装に係る研究開発 随意契約（企画競争）	121,235

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割

支出先名	支出額	法人番号
大興製紙株式会社	98,362	5080101008905

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
建築廃材等未利用資源を活用したＳＡＦ用２Ｇバイオエタノール生産実証事業 随意契約（企画競争）	98,362

支出先名	支出額	法人番号
bitBiome株式会社	93,936	4011101085958

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
廃プラスチック資源のバイオリサイクルの実現 随意契約（企画競争）	93,936

支出先名	支出額	法人番号
味の素株式会社	76,780	8010001034740

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
環境保護と食品供給の安定化を実現する精密発酵技術の開発 随意契約（企画競争）	76,780

支出先名	支出額	法人番号
その他	279,276	--

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
その他 随意契約（企画競争）	279,276

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
C 国立大学法人神戸大学ほか	2,020,878	31	委託元が行う研究開発・実証の一部を実施

支出先名	支出額	法人番号
国立大学法人神戸大学	440,921	5140005004060

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業 随意契約（企画競争）	440,921

支出先名	支出額	法人番号
国立大学法人東京科学大学	235,835	9013205001282

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業 随意契約（企画競争）	235,835

支出先名	支出額	法人番号
大関株式会社	221,218	3140001068185

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業 随意契約（企画競争）	221,218

支出先名	支出額	法人番号
国立大学法人信州大学	178,439	3100005006723

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業 随意契約（企画競争）	178,439

支出先名	支出額	法人番号
国立大学法人北海道国立大学機構北見工業大学	168,740	6460305000387

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業 随意契約（企画競争）	168,740

支出先名	支出額	法人番号

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
ｂｉｔＢｉｏｍｅ株式会社	125,673	4011101085958	

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
未利用バイオマス資源を活用した産業を創出する糖化酵素供給プラットフォームの構築 随意契約（企画競争）	125,673

支出先名	支出額	法人番号
国立大学法人京都大学	84,028	3130005005532

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業 随意契約（企画競争）	84,028

支出先名	支出額	法人番号
株式会社Ｂｉｏｍａｔｅｒｉａｌ　ｉｎ　Ｔｏｋｙｏ	77,735	1040001070087

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
国内未利用バイオマスを利用した機能性糖質素材の開発と社会実装 随意契約（企画競争）	77,735

支出先名	支出額	法人番号
株式会社ｄｉｇｚｙｍｅ	55,856	6010401147747

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
繊維　ｔｏ　繊維の資源循環構築の実現に向けた研究開発・実証 随意契約（企画競争）	55,856

支出先名	支出額	法人番号
国立研究開発法人理化学研究所	55,770	1030005007111

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業 随意契約（企画競争）	55,770		

支出先名	支出額	法人番号
その他	376,663	--

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
その他 随意契約（企画競争）	376,663

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
D　大興製紙株式会社ほか	8,618,881	32	経営者のコミットメントの下、長期にわたって研究開発・実証、社会実装に向けた取組を実施

支出先名	支出額	法人番号
大興製紙株式会社	2,352,042	5080101008905

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
建築廃材等未利用資源を活用したＳＡＦ用２Ｇバイオエタノール生産実証事業 補助金等交付	2,352,042

支出先名	支出額	法人番号
レンゴー株式会社	1,993,253	1120001036880

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
建築廃材等未利用資源を活用したＳＡＦ用２Ｇバイオエタノール生産実証事業 補助金等交付	1,993,253

支出先名	支出額	法人番号
ＥＮＥＯＳ株式会社	1,532,598	4010001133876

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
第２世代バイオエタノール製造技術とバイオエタノール由来製品技術の開発 補助金等交付	1,532,598

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割

支出先名	支出額	法人番号
Green Earth Institute 株式会社	453,870	4010001142142

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
純国産木材バイオリファイナリーによる世界最高クラスの低炭素バイオエタノール生産プロセスの開発 補助金等交付	453,870

支出先名	支出額	法人番号
日本製紙株式会社	420,748	8011501009422

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
純国産木材バイオリファイナリーによる世界最高クラスの低炭素バイオエタノール生産プロセスの開発 補助金等交付	420,748

支出先名	支出額	法人番号
株式会社ちとせ研究所	183,735	9020001081673

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
下水汚泥等高含水有機廃棄物を資源化する炭素／窒素循環社会システム実証 補助金等交付	183,735

支出先名	支出額	法人番号
王子ホールディングス株式会社	173,636	5010001034743

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業 補助金等交付	173,636

支出先名	支出額	法人番号
ＡＮＡホールディングス株式会社	173,320	6010401050876

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
余剰汚泥を使った従属栄養性藻類の培養とバイオディーゼル系脂肪酸原油生産の実証事業 補助金等交付	173,320		

支出先名	支出額	法人番号
株式会社ファーマフーズ	155,967	5130001011549

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
改変酵素を用いた卵殻膜の総合的活用プラットフォームの構築 補助金等交付	155,967

支出先名	支出額	法人番号
東レ株式会社	121,172	5010001034867

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業 補助金等交付	102,200
繊維　ｔｏ　繊維の資源循環構築の実現に向けた研究開発・実証 補助金等交付	18,972

支出先名	支出額	法人番号
その他	1,058,540	--

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
その他 補助金等交付	1,058,540

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
E　ＴＯＰＰＡＮホールディングス株式会社 ほか	634,715	25	助成元が行う研究開発・実証の一部を実施

支出先名	支出額	法人番号
ＴＯＰＰＡＮホールディングス株式会社	281,333	7010501016231

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
第２世代バイオエタノール製造技術とバイオエタノール由来製品技術の開発 補助金等交付	281,333		

支出先名	支出額	法人番号
株式会社バッカス・バイオイノベーション	68,471	5140001116883

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
改変酵素を用いた卵殻膜の総合的活用プラットフォームの構築 補助金等交付	47,550
繊維　ｔｏ　繊維の資源循環構築の実現に向けた研究開発・実証 補助金等交付	20,921

支出先名	支出額	法人番号
国立大学法人大阪大学	51,808	4120905002554

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
細胞性和牛肉の社会実装に係る研究開発 補助金等交付	30,446
下水汚泥等高含水有機廃棄物を資源化する炭素／窒素循環社会システム実証 補助金等交付	21,362

支出先名	支出額	法人番号
株式会社ちとせ研究所	33,979	9020001081673

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
環境保護と食品供給の安定化を実現する精密発酵技術の開発 補助金等交付	33,979

支出先名	支出額	法人番号
国立大学法人信州大学	26,238	3100005006723

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
改変酵素を用いた卵殻膜の総合的活用プラットフォームの構築 補助金等交付	15,662

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
繊維　ｔｏ　繊維の資源循環構築の実現に向けた研究開発・実証 補助金等交付	10,576		

支出先名	支出額	法人番号
ダイワボウレーヨン株式会社	20,964	4120001083210

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
改変酵素を用いた卵殻膜の総合的活用プラットフォームの構築 補助金等交付	20,964

支出先名	支出額	法人番号
公益財団法人地球環境産業技術研究機構	20,000	2130005012678

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
未利用原料から有用化学品を産み出すバイオアップサイクリング技術の開発 補助金等交付	20,000

支出先名	支出額	法人番号
国立研究開発法人産業技術総合研究所	19,066	2130005012678

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
マンノシルエリスリトールリピッドの利用分野拡大に向けた革命的生産システムの開発 補助金等交付	19,066

支出先名	支出額	法人番号
株式会社ベジ・ドリーム栗原	17,138	5370201003339

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
改変酵素を用いた卵殻膜の総合的活用プラットフォームの構築 補助金等交付	17,138

支出先名	支出額	法人番号
国立大学法人宮崎大学	14,235	1350005001593

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
農業の未利用資源を活用した多機能性油脂等生産の研究開発・実証事業 補助金等交付	14,235

支出先名	支出額	法人番号
その他	81,483	--

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
その他 補助金等交付	81,483

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
F　アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社ほか	63,546	4	技術・市場動向調査等

支出先名	支出額	法人番号
アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社	19,998	1010401000530

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
油脂分野に関する市場調査（バイオものづくり革命推進事業伴走調査） 随意契約（企画競争）	19,998

支出先名	支出額	法人番号
合同会社デロイトトーマツ	19,837	3010001076738

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
バイオリサイクルに関する市場調査（バイオものづくり革命推進事業　伴走調査） 随意契約（企画競争）	19,837

支出先名	支出額	法人番号
三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社	14,911	3010401011971

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
バイオものづくりに関するＬＣＡの指針検討に向けた基礎調査 随意契約（企画競争）	14,911		

支出先名	支出額	法人番号
株式会社ＪＴＢ	8,800	8010701012863

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
「バイオものづくり革命推進事業」新規採択等に関する支援業務 随意契約（企画競争）	8,800

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
G　一般社団法人サステナブル経営推進機構	1,498	1	委託元が行う調査の一部を実施

支出先名	支出額	法人番号
一般社団法人サステナブル経営推進機構	1,498	5010005030391

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額
バイオリサイクルに関する市場調査（バイオものづくり革命推進事業　伴走調査） 随意契約（企画競争）	1,498

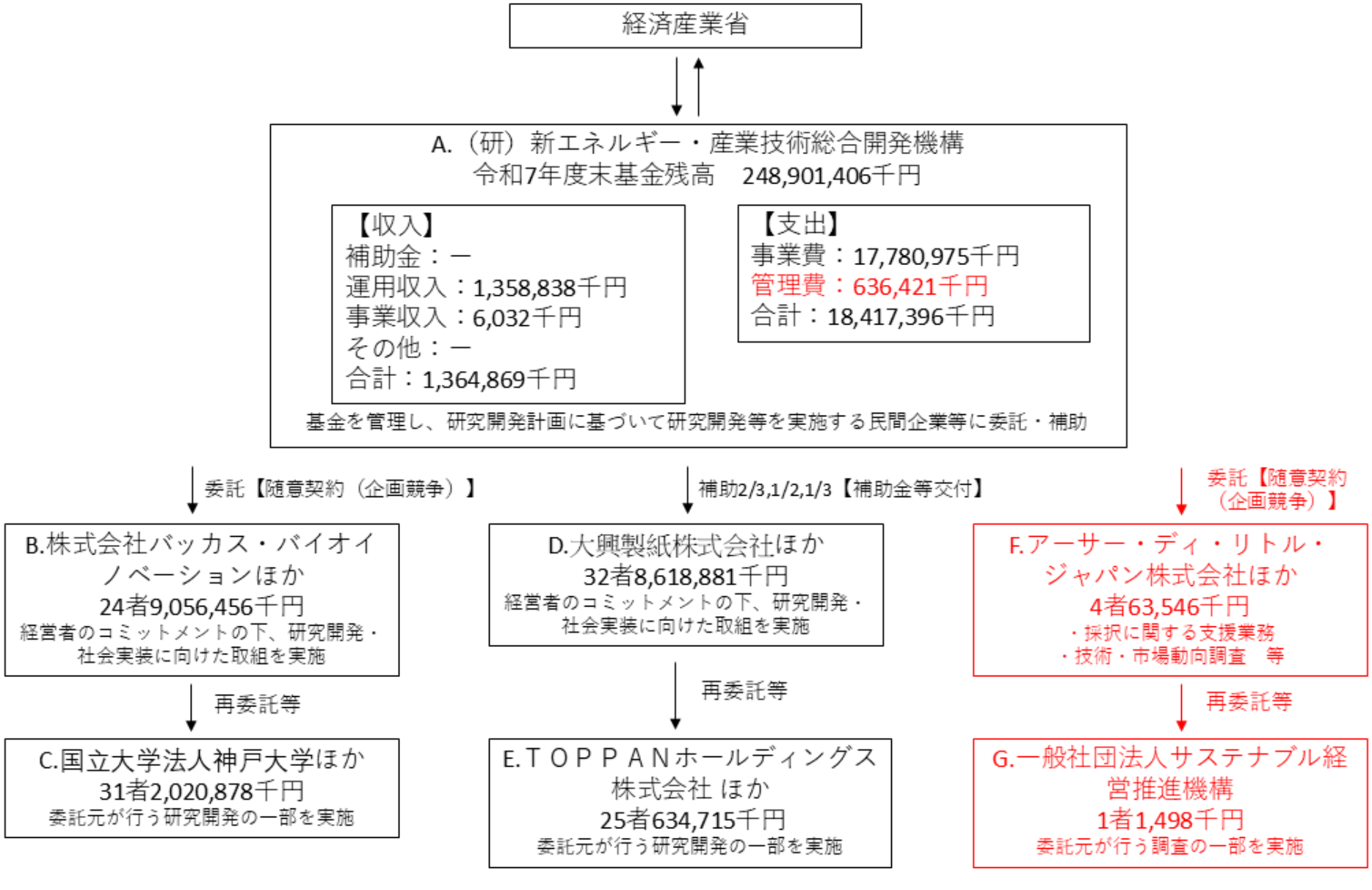
費目・使途（前年度における各ブロックからの支出）（単位：千円）		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額
	A	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	バイオものづくり革命推進事業の実施	事業費	バイオものづくり革命推進事業を実施するための費用	17,780,975
	--	--	--	人件費	基金設置法人の人件費	311,836
	--	--	--	事務費	基金設置法人の事務費	261,039
	B	株式会社バッカス・バイオイノベーション	木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業	機械装置等費	木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業に係る機械装置等費等	2,157,804
	--	--	--	労務費	木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業に係る研究員費等	132,000
	--	--	--	その他経費	木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業に係る消耗品費・外注費等	183,218
	--	--	--	間接経費	木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業に係る間接経費等	247,302
	--	--	--	再委託費・共同実施費	木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業に係る委託・共同研究費等	765,564
	C	国立大学法人神戸大学	木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業	直接経費	木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業における直接経費等	339,171
	--	--	--	間接経費	木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業における間接経費等	101,750
	D	大興製紙株式会社	建築廃材等未利用資源を活用したＳＡＦ用２Ｇバイオエタノール生産実証事業	機械装置等費	建築廃材等未利用資源を活用したＳＡＦ用２Ｇバイオエタノール生産実証事業における機械装置等費	2,319,764
	--	--	--	その他経費	建築廃材等未利用資源を活用したＳＡＦ用２Ｇバイオエタノール生産実証事業におけるその他経費	21,208
	--	--	--	委託費・共同研究費	建築廃材等未利用資源を活用したＳＡＦ用２Ｇバイオエタノール生産実証事業における委託費・共同研究費	9,790
	--	--	--	労務費	建築廃材等未利用資源を活用したＳＡＦ用２Ｇバイオエタノール生産実証事業における労務費	1,280

		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額
	E	ＴＯＰＰＡＮホールディングス株式会社	第２世代バイオエタノール製造技術とバイオエタノール由来製品技術の開発	機械装置等費	第２世代バイオエタノール製造技術とバイオエタノール由来製品技術の開発における機械装置等費等	274,700
	--	--	--	その他経費	第２世代バイオエタノール製造技術とバイオエタノール由来製品技術の開発おけるその他経費	6,633
	F	アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社	油脂分野に関する市場調査（バイオものづくり革命推進事業　伴走調査）	労務費	油脂分野に関する市場調査に係る研究員費等	19,998
	G	一般社団法人サステナブル経営推進機構	バイオリサイクルに関する市場調査（バイオものづくり革命推進事業　伴走調査）	労務費	バイオリサイクルに関する市場調査（バイオものづくり革命推進事業　伴走調査）に係る研究員費等	1,498

その他備考

資金の流れ

（単位：千円）※ 2025（令和７年度実績）を記入



--